

# 第43回 日本分子生物学会年会 MBSJ2020 Online

## 特別展示企画 「ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP)」 オンライン展示 「バイオリソース勢ぞろい」

日時：2020年12月2日（水） - 4日（金）

会場：オンライン開催

参加リソース・課題：NBRP全35課題：

情報センター、GBIF日本ノード、GAIN、ABS対応、実験動物マウス、ラット、ニホンザル、ニワトリ・ウズラ、ネッタイツメガエル、ゼブラフィッシュ、メダカ、カタユウレイボヤ、ショウジョウバエ、カイコ、線虫、シロイヌナズナ等実験植物/植物培養細胞・遺伝子、イネ、コムギ、オオムギ、ミヤコグサ・ダイズ、トマト、広義キク属、アサガオ、藻類、ゾウリムシ、細胞性粘菌、一般微生物、酵母、原核生物（大腸菌・枯草菌）、病原真核微生物、病原細菌、ヒト臍帯血細胞、ヒト・動物細胞、遺伝子材料、NBRP広報室（リソース寄託・提供相談窓口）

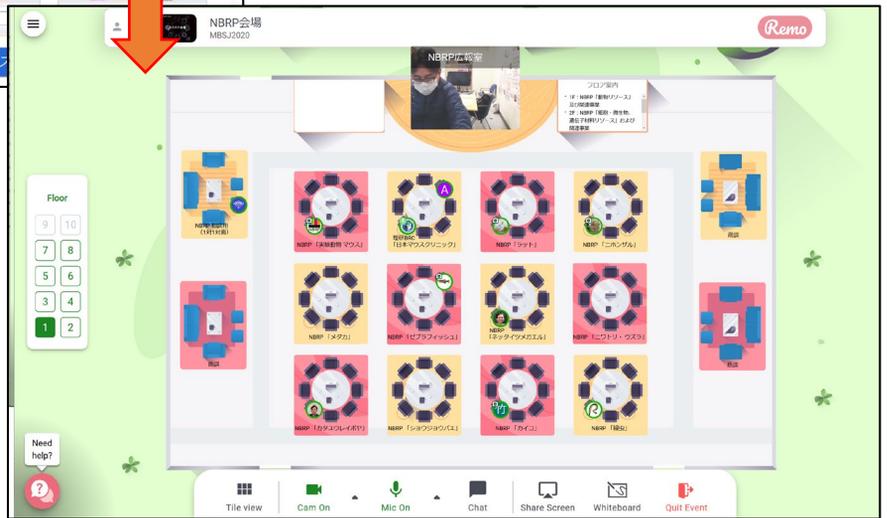
### ○展示内容

コロナ禍でのオンライン開催となり、1課題につき、それぞれオンライン展示サイト（広報メディア及びリソース情報URLの掲示など）とバーチャル対面型商談サイト“Remo”による広報を実施。

## オンライン展示サイト



# バーチャル対面型商談サイト



## ○結果

・大会参加者：4,662名

1) オンライン展示サイトアクセスIP数（重複なし）：1,132件/35課題・3日間  
・昨年度の福岡大会（2,601名）に比べ、訪問者（アクセスIP）数は減少。年会自体への参加者数（福岡大会：7,129名）の減少を考慮しても、訪問率はそれ以上に低い。

2) バーチャル対面型商談サイト訪問者数（重複なし）：53名/35課題・3日間  
・ほとんど訪問者はいなかった。

3) 全体として

・大会展示担当者からは、ほとんどの参加者が自身のポスター発表が終わると年会サイトからログアウトしている傾向があったとの報告があった。まさしくそのことを反映している訪問者数となった。

・学会により、導入される展示システムが異なるため、NBRPの各課題間で、臨機応変に対応できるIT人材の存在と、広報に避ける時間の差がオンライン展示サイトの充実度に顕著に現れていた。

・今後のオンライン開催となる学会での広報活動については、展示以外での広報の検討が必要であり、展示であれば、展示会場まで参加者を誘導できる確かなシステムの提示がなければ、十分な費用対効果が得られない。今後、オンライン展示についての動向調査を継続実施する必要がある。